

平成27年度 地域行政懇談会会議録

会議名	第3回 地域行政懇談会
日時	平成27年7月29日(水) 午後7時00分～午後8時30分
会場	三島市役所本館 第1会議室
コーディネーター	静岡大学人文社会科学部法学科教授 日詰一幸氏
市出席者	豊岡市長、中村副市長、関係部長、関係課長
事務局	行政課
次第	1 開会 2 市政における中長期の課題 3 参加者による意見交換会 コーディネーター 日詰氏 4 閉会
参加者数	11人

1 開会

(1) 懇談会の趣旨と進め方について説明

(2) コーディネーター及びその他出席者(市職員)紹介

(趣旨)

三島市の中長期的な課題へ対応するために、市民の皆様にも、市が置かれている現状や課題を認識していただくとともに、市民と行政が協働で知恵を出し合い、対応策や解決策を検討していくことを目的に開催するものです。

(コーディネーター紹介)

静岡大学 人文社会科学部 法学科教授の日詰一幸教授。

先生の専門は「行政学」で市民参加に係る研究もしており、これまでに、三島市の「女性まちづくり講座」の講師や生涯学習推進プラン策定懇話会の委員をお願いしている。

(市職員紹介)

続いて、出席している市の職員を紹介。

豊岡市長、中村副市長、市役所の各部の部長、関係課長

(進め方)

次に、本日の懇談会の進め方について簡単に説明する。

この後、市長から市政における中長期の課題について、三島市の置かれている現状を踏まえ説明する。説明終了後、コーディネーターの日詰教授に進行をお願いし、課題の現状に関する意見交換を行っていただく。意見交換にあたっては、掲示してある「会の進め方」「本日の話し合いの考え方」に留意いただきたい。

2 市政における中長期の課題

市長説明 ※パワーポイント資料による

- ①健康施策の向上 ～みんなが健康づくりに取り組むためには～
- ②人口減少対策 ～子育てしやすい環境づくりのためには～

3 参加者による意見交換会

C：コーディネータ P：参加者 A：回答

I 健康施策の向上

C 健康に無関心の方が7割はいると言われていました。無関心の方にも健康づくりの意識を高めてもらうためには、どのようなことができそうか、皆さんからご意見をいただきたい。

P 日々食べるメニューについて、魚を食べると〇〇に良い、肉を食べると△△に効果がある、というように、メニューや食材についての栄養や効果に関する情報を市内のスポットで情報発信していったらどうか。これを食べることによってこのような効果が出たというデータを提供できるといいと思う。

また、自分は社交ダンスをやっているが、社交ダンスは健康にとってもよい。メタボ対策にもなる。以前参加した社交ダンスイベントに来ていた人はとても生き生きとしていた。市主催の社交ダンスパーティーを開催してみてもどうか。

P 本日の会の出席者もそうだが、健康に関心が高い3割の人というのは、地域の防災訓練の参加者と同じである。自分の地域では参加人数は多いが、それでも5割前後である。自分の地域では、地震を体験できる車両や煙を体験できるテントなど、イベントを実施すると参加者は比較的増える。なので、健康施策においてもインパクトのあるイベントを企画することが有効であると思う。

P 無関心層を取り込むのは大変である。いわゆる、フリーライダーと言われる、自分たちはやらなくても、ほかの人に任せておけばいいという人たちである。ところが、健康の場合は、ほかの人に任せておくわけにいかないで、本人に危機意識を持たせることが必要である。

自分は、健康づくりプログラムに参加したが、受講できる人数が少ない。さらに、お金が少し高かったり、時間が制約されたりと気軽に参加できない。体を動かすにはラジオ体操がいいのだろうが、これも朝が早く、時間の問題がある。時間を気にせず、気軽に参加できるようなイベントを多く企画し、参加人数を増やしていくべきだと思う。そのためには、専門家だけでなく、NPOやボランティアなどを活用し、健康イベントのスタッフを増やしてはどうか。

また、参加人数を増やすためには、仲間同士で誘い合って健康づくりに取り組むことが大事であると思う。コミュニティ連絡会を活用するのも一つの手であると思う。

P 最近、ウォーキングや登山をやる人が増えてきていると思うが、広報みしまのイベントお知らせ記事は小さくてわかりづらい。もっと目に付きやすくなるように工夫してみてもどうか。

無関心層の中には若い人が多いと思う。高齢になり、病気になったときに健康を意識するようになるが、若い人は今が健康なのであまり気にしていない人が多いのではないかと。イベントや情報発信をもっと目につくようにし、きっかけづくりをもっと行なってほしい。

C 年齢層に応じた情報発信をしてみてもどうかということですね。

- P 自分はラジオ体操の役員をやっている。ラジオ体操の参加者は平均 80 歳くらいと思われる。参加者の中には、マイレージポイントのために来ている人もいるようなので、それも一つの手だと思ふ。最近、小学校ではラジオ体操はあまり行っていないようである。市がラジオ体操を行なっている団体の情報をもっと発信し、参加者を増やしてほしいと思ふ。
- 自分は杖をついており、病院に通っているが、民間療法も大事だと思ふ。同じ病気を抱える人や仲間うちで病気や症状について話し合うことも有効であると思ふ。
- C ラジオ体操は、体を動かすことだけでなく、情報交換も場にもなると思ふ。老若男女問わずラジオ体操を行うことはいい機会になると思ふ。
- 特定健診の受診率の向上についての意見はどうか。
- P 特定健診に行ったときに、どのような運動をしたらよいかなどアドバイスをしたらよいと思ふ。診断結果を出すときに、医師や職員からの声掛けが必要だと思ふ。結果を数値で出すだけでなく、具体的に何をすればいいかを説明することが大事だと思ふ。また、健康や病気などについて話し合うことができる憩いの場をもっと増やしていくために、駅前などでイベントを開いてみてはどうか。
- P 三島市の特定健診の受診率は、県平均と比べると高いということであるが、自分の職場では、健診結果で悪いところが増えると、様々な指導が入る。その中で、運動をなさいというものもある。自分は競技ダンスを行うことで、改善されてきた。健診結果のフォローをしっかりとすることによって、アドバイスを受けて、改善した結果、健康になりました、という事例が増え、多くの人を知るようになれば、受診率は上がっていくのではないか。
- C 健診を受けっぱなしではなく、フォローアップをしていくことはとても大事なことです。

Ⅱ 人口減少対策

- C 次に、人口減少対策ですが、人口が減り、少子高齢化が進む中で、どうすれば三島市の人口を増やしていくかが大事になってきます。そのための、ひとつの手段として三島への移住者をいかに増やしていくかということがありますが、どのような手段があるだろうか。
- P 長泉町は子育て支援で有名である。三島市も様々な支援策を行なっているが、まだまだ市民に広く知られていない。イメージ作りが大事なので、もっともっと三島の施策を知ってもらう必要がある。
- また、若い人に三島に移住してもらうには、住まいの確保が大事である。市内には空家があるので、空家を有効活用し、少額での住まいの提供や、補助金を出すなど支援策を進めていくとよいと思ふ。
- 先日、敬老祝い金を渡してきたが、高齢者が増えているので、75 歳以上を 80 歳以上にし、資金を若い人に回して行ってほしい。若い人の意見をもっと取り入れてほしい。
- 婚活イベントが各所で行われていると思うが、もっと市民に知ってもらえるよう、情報発信を工夫していただきたい。
- 市の職員が地域の子供たちと遊んでくれる機会があるが、そのような機会を増やし、また、高齢者の参加も増やすことで、幅広い年齢層での交流ができれば、子どもたちにとっても心の道徳の教育にもなるので、もっと拡大してほしい。
- C 三島市のいいところをもっとうまく情報発信してことが大事ですね。婚活も重要なテーマであ

る。出会いがあって、結婚、子育てをつながっていく。昔は、地域で世話役の人がいたが、最近
は少なくなっている。

P 自分は職場が三島市なので今日参加したが、三島市は花がいっぱいあってとてもきれいであり、
品格のあるまちだと思う。周りの友達の評判も高い。また、内陸フロンティアの認定についても、
市の職員の努力があってのことだと思うので、素晴らしいことである。さらに、市街化調整区域
についても一部開発が進んでいくと聞いている。このまま、進めていけば人口減少対策の心配は
ないと思っている。

A ご意見のとおり取り組みを進めているところである。国道一号線の六本木交差点から清水町の
境にかけて、地区計画を策定し開発を進める予定である。チームみしまで一丸となって取り組ん
でいきたい。

P 婚活についてだが、婚活は親御さん同士で行うというものもあるが、本人の参加が大事だと思
う。市内の団体や企業には若い人はたくさんいると思うので、婚活イベントを市内の企業や団体
を巻き込むかたちで開催していただきたい。若い人が三島のまちをもっと歩いているイメージに
して行ってほしい。近隣市町に比べて、付加価値をつけていくことが必要であると考える。

市のホームページについてだが、市民の声や意見として、このようなものがあり、それに対す
る対策や考えを箇条書きでもいいのでわかるようにしてほしい。より透明性の高いものにしてい
ていただきたい。

最後に時給についてだが、商工会議所でもどこでもいいので、この資格をとればどれくらいの
時給になるなど、具体的に時給や賃金についての説明を聞くことができるサービスを拡充しては
どうか。

C いろいろと意見が出たが、市として取り入れることができることは積極的に取り入れていただ
きたい。

P 三島市に大学が新しくできるといいと思う。とはいえ、土地がないと思うので、すでにある日
本大学や順天堂大学にお願いして、保育関係の学部を増やすことで、三島市の定住者を増やして
行ってほしいと思う。

P ガーデンシティは目に見えて美しく、素晴らしいと思う。一方で、他の問題は目に見えにくい。
孫が近隣の県にいて、感じたことだが、そこでは学校が休みの日でも、学校で預かってくれる。
また、運動会でも横のつながりだけでなく、縦のつながりも大事にしている、興味深い。そうす
ることによって、地域でも縦のつながりが出てくる。三島市では、コミュニティ連絡会を活用し、
つながりを深めていく必要があると思う。そして、アピールしていくことが大事であると思う。

健康や防災に関しては、自分が参加しないといけないという危機感が必要だと思う。場所はど
こでもいいので、勉強会のようなものを開き、価値観を共有していく機会を増やしていくこと
をお願いしたい。

C 健康施策と人口減少対策について、皆さんから意見を頂きありがとうございました。今日の意
見を今後の市政に生かしていくよう私からもお願いします。

また、先日、県の教育委員会との話で、三島北高校がグローバルサイエンスハイスクールに選
ばれているという話を聞いた。これは、県内では唯一の取り組みで、アクティブラーニングとし
て、水をテーマにフィールドワークを行い、3年後にはその成果を英語で発表するというもので
ある。このように、三島市には誇れるものが数多くあると思う。それらをうまく活用し、対外的
にうまくアピールしていけば、三島市はもっと発展していくと思います。

今日は皆さんありがとうございました。

4 閉会の挨拶

(市長)

大変熱心に、また、活発に意見交換をしていただき大変ありがとうございました。これからの三島市の行政の中で参考にしていきたいと思う。

私から、皆さんに一点お願いしたい。本日、説明した内容について、「子育て支援策にこんなものがあるんだよ」「健康づくりはこんなことをやっているんだよ」というように、ぜひ友達、近所、周りの人に話をしてもらいたい。そうすることによって、7割の無関心層にも関心を持ってもらいたいと思う。

本日は夜分お疲れのところ、また、暑い中を参加いただき重ねて感謝し閉会とさせていただきます。

-----閉 会-----